



## ディボーション質問表

### 10日(月) 創世記 3:14~21

1. 神は罪を犯したもののたち(蛇、エバ、アダム)にどのように語っていますか？ その影響は今どのように見られるのでしょうか？
2. 罪を犯した人間に対して、裁きだけではなく救いの道が予告されています。そこに暗示されている道を思い巡らしましょう。
3. この箇所で行われているメシヤはどのような方だと言われていますか？

### 11日(火) イザヤ書 7:1~17

1. 困難、脅威に直面した時の対処法が出てきます。あなたは今の困難に対してどのように立ち向かいますか？
2. アッシリヤによる北王国の崩壊が預言されています。これ以降、イスラエルは捕囚や他国の侵略、特にローマによる支配を受けて、メシヤの到来をまちのぞむこととなります。今の日本と似たような状況はありますか。またあなたはそこで何に希望を見いだしていますか？

### 12日(水) イザヤ書 9:1~7

1. この預言はイエス様降誕の約740年も前に与えられたものです。1節に出てくる地名を地図で確認してみましょう。この預言を最初に与えられた人々はどのような人々だったでしょう。なぜ天の父はこの約束を与え、実現してくださったのでしょうか？(注:ゼブルンやナフタリが属している北イスラエル王国は、アラムとの反アッシリヤ同盟が発覚した為に、BC734~732年にアッシリヤによって侵略されました。)
2. 2~5節の内容は、捕囚からの解放を通してその一部が成就しました。しかし、究極的にはメシヤの初臨と再臨によって成就します。この預言が私たちにどのような希望をもたらしめているのでしょうか？
3. 6~7節にはメシヤとしてのイエス様が力強く表現されています。イエス様の性質を挙げて主を礼拝してみましょう。

### 13日(木) ミカ書 5:1~4

1. 最も小さいものに目をとめ、救い主を送り出す氏族として、ベツレヘムを選ばれた天の父の心を思い巡らしてみましょう。その眼差しが自分にも注がれている事を覚えましょう。
2. ベツレヘム・エフラテの人々はこの預言を救い主誕生の700年前に聞きました。彼らはどう思ったでしょうか？ その後の時代のこの町の人々はどのように思っていたでしょうか？
3. この預言は、マタイ2:6節で引用されています。

### 14日(金) マタイの福音書 21:1~11

1. この場面は、イエス様が十字架に架かれる直前、ロバの子に乗りエルサレムに入場された時の事です。ここから、イエス様がどのような方であると分かるのでしょうか？ そのイエス様の姿を思い巡らしてみましょう。
2. 10節には「この方は、どういう方なのか。」という人々の言葉が書かれています。当時の人々はどう理解していたでしょう。また、わたしたちはどう理解しているのでしょうか？
3. 21:5節はゼカリヤ9:9~10節からの、21:9節は詩篇118:26~27節からの引用です。それぞれの箇所も読んでみましょう。

### 15日(土) ヨハネの福音書 1:1~18

1. 神の「ことば」とは、何ですか？ 神の「ことば」は、何をもちましたか(1~6節)？ また、まことの光とはどのような光でしょうか？
2. 何について、ヨハネはあかししていますか？ ことば(光)を受け入れない人々とは、誰のことですか？ どうして彼らはこの方を受け入れなかったのでしょうか(7~11節)？
3. ことばはなぜ人(肉体)となられたのでしょうか？ この方はどのような方でしょう。この事を思う時どのような気持ちがしますか(14節)？
4. 人となられたイエス様は何を私たちに与えて下さるのでしょうか？ その事は私たちの生活にどのような変化をもたらしめていますか？

\*今週の箇所から3日以内に始められ、具体的、実現可能で計測することができる計画を聞いてみましょう。